



# まちづくり計画

2005.10.01

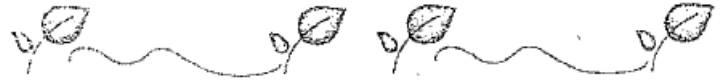


コミュニティ末広

COMMUNITY SUEHIRO

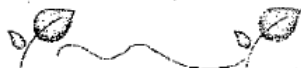


## コミュニティ末広まちづくり計画



### 出会い・ふれあい・みんなで楽しくまちづくり

はじめに .....	1
コミュニティ末広 まちづくりスローガン .....	5
わがまち末広 まちづくり計画 .....	6
1. 安心・安全な道づくり .....	6
2. 見守り・語らいのネットワークづくり .....	9
3. 賑わい・交流のまちづくり .....	15
4. 快適な環境づくり .....	18
こうやって計画を進めよう .....	21



## はじめに

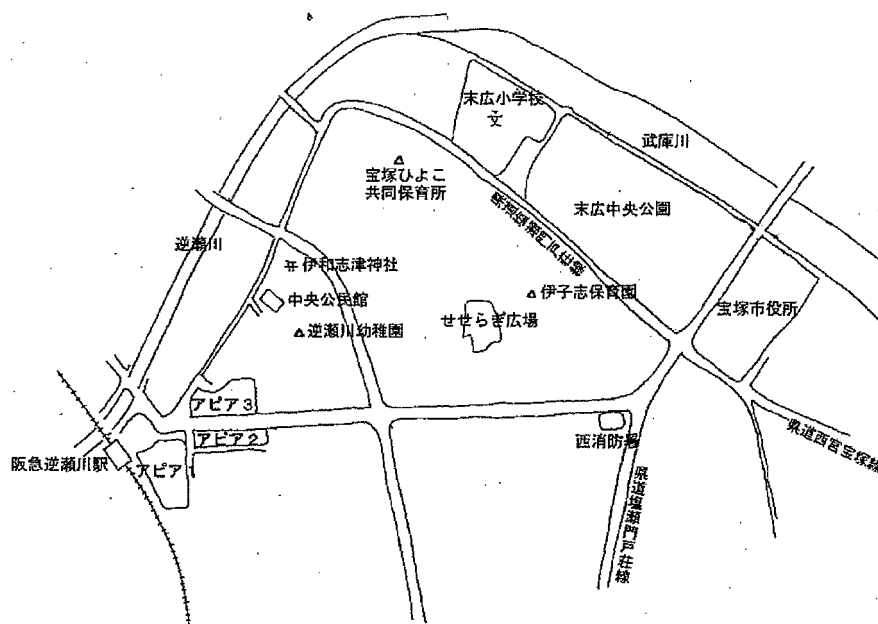
### 1. コミュニティ末広の概要

#### ① わがまちの位置と構造

コミュニティ末広は、南部市街地のほぼ中央、武庫川及び逆瀬川の右岸に位置し、阪急今津線逆瀬川駅から宝塚市役所に至る市の中心機能が集積する地域です。

地域内は平坦な部分が多いのですが、武庫川及び逆瀬川沿い川部は堤となっているため、急勾配で土地が高くなっています

地域の中央を縦横に主要道路が通り、まちが分断されていますが、一方でそれぞれにまとまりと特徴のあるブロックとなっており、“小さいながらも個性のあるまち”の集合体となっています。



#### ② 人口

コミュニティ末広の人口は、平成 16 年 12 月末現在 7,266 人で、5 年前と比較すると 300 人ほど減少しています。一方で、世帯数は 10 増加しており、家族の少人数化が進んでいることが伺われます。

コミュニティ末広の面積・世帯数・人口

	面積(㎡)	平成 16 年 12 月末現在				平成 11 年 12 月末現在			
		世帯数	人口	男性	女性	世帯数	人口	男性	女性
伊子志1丁目	7.5	276	573	255	318	283	645	312	333
伊子志2丁目	9.5	489	1,271	592	679	499	1,373	664	709
伊子志3丁目	10.0	682	1,610	754	856	629	1,524	705	819
伊子志4丁目	11.5	720	1,683	840	843	797	1,889	973	916
逆瀬川1丁目	8.5	638	1,446	632	814	601	1,476	657	819
逆瀬川2丁目	7.5	238	556	241	315	223	537	230	307
末広町	14.1	63	127	58	69	64	131	59	72
コミュニティ末広計	68.6	3,106	7,266	3,372	3,894	3,096	7,575	3,600	3,975

資料：宝塚市統計

平成16年12月末現在の人口を年齢別の構成比をみると、宝塚市全体とほぼ同じ傾向になっていますが、40歳代・50歳代と65歳以上がやや多く、19歳未満がやや少なくなっています。

	性別	総数	0-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	65-74	75以上	再掲65以上
宝 塚 市 総 数	計	221,225	32,342	10,793	26,450	36,321	27,653	32,575	28,291	23,059	16,461	39,520
	構成比	100.0%	14.6%	4.9%	12.0%	16.4%	12.5%	14.7%	12.8%	10.4%	7.4%	17.9%
	男	104,532	16,401	5,358	12,332	17,450	13,378	15,249	13,429	10,751	6,188	16,939
	女	116,693	15,941	5,435	14,118	18,871	14,275	17,326	14,862	12,308	10,273	22,581
コミュニティ末広計	計	7,266	952	313	884	1,050	969	1,153	937	676	643	1,440
	構成比	100.0%	13.1%	4.3%	12.2%	14.5%	13.3%	15.9%	12.9%	9.3%	8.8%	19.8%
	男	3,372	484	154	410	512	446	544	432	285	235	580
	女	3,894	468	159	474	538	523	609	505	391	408	860

資料：宝塚市統計

### コミュニティ末広の年齢別人口と構成比

### ③ 産業

逆瀬川駅前には、「アピア1」「アピア2」「アピア3」「イトーピア逆瀬川参鐘館」と駅前再開発時に建設された複合ビルがあり、また、宝塚市役所に至る通り沿いにも飲食店、衣料品店、書籍・雑貨店、生鮮食料品店、銀行、不動産業など小売・飲食店、サービス業が集積しており、“便利なまち”となっています。

### 事業種別事業所数と従業者数（平成13年10月1日現在）

単位：件      単位：人

	事業所数	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業・飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	従業員数
宝 塚 市 総 数	5,267	11	-	370	176	9	95	2,399	65	383	1,759	48,127
末広コミュニティ計	527	0	-	21	8	0	8	279	13	41	157	3,611
対全市比率	10.0%	0.0%	-	5.7%	4.5%	0.0%	8.4%	11.6%	20.0%	10.7%	8.9%	7.5%
伊 子 志 1 丁 目	50	-	-	3	-	-	1	16	2	2	26	353
伊 子 志 2 丁 目	41	-	-	1	2	-	-	11	1	12	14	195
伊 子 志 3 丁 目	81	-	-	6	3	-	-	34	4	6	28	651
伊 子 志 4 丁 目	37	-	-	7	3	-	-	10	-	3	14	331
逆 瀬 川 1 丁 目	266	-	-	3	-	-	6	187	4	13	53	1,717
逆 瀬 川 2 丁 目	48	-	-	1	-	-	1	21	2	4	19	307
末 広 町	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	57

資料：宝塚市統計

## 2. わがまち 末広

### ① まちの歴史

明治初期のコミュニティ末広地域は、伊子志の集落を除いて、砂礫の川原であったとされています。明治 22 年に伊子志、小林、蔵人、鹿塩の 4 村が合併して良元村となり、この地に村役場が置かれました。

明治 31 年に阪鶴鉄道（現 JR 福知山線）の開通と宝塚温泉の開発がなされ、明治 43 年に阪急電車の敷設と沿線開発が進み、大正 10 年に阪急今津線が開通しました。幾多の災害を引き起こしていた六甲山系は、明治 30 年から砂防工事が進められ、武庫川護岸工事も実施され、逆瀬川は大正 15 年に小林在の平塚嘉右衛門氏等が私費を投じて河川改修を実施し、下流域一帯の宅地造成もなされました。

宝塚少女歌劇や遊園地、宝塚ゴルフ倶楽部などの行楽地が栄え、東洋ベアリング宝塚工場などの産業立地も進んできましたが、戦争に突入し、昭和 20 年 7 月 24 日には川西航空機工場（現阪神競馬場）が空襲を受け、甚大な被害を受けました。

終戦後、逆瀬川駅前に集積していた商店により、逆瀬川商和会が設立され、盆踊りや運動会など地域をあげての交流事業が取り組まれていきました。

昭和 29 年 4 月 1 日に、宝塚町と良元村が合併し、宝塚市が誕生しました。

昭和 30 年に逆瀬川市場、31 年に市役所前市場が建設され、スーパーの進出など商業地としてめざましい発展をとげ、利便性の高い地域として大きくなっていきました。一方で、昭和 36 年にもちあがった土地区画整理事業が合意を得られぬまま頓挫するという経験もありました。

昭和 47 年頃から逆瀬川駅周辺地区の再開発の検討がなされ、昭和 52 年に市街地再開発促進組合が設立しました。そして、昭和 62 年に再開発事業が完了しました。

（逆瀬川商和会 30 周年記念誌「さかせ川のあゆみ」など参照）

### ② 川と水路とともに

武庫川は天井川で、農業用水を引くには便利でしたが、5～10 年に 1 度は水害に見舞われました。武庫川しゅんせつ工事が大正時代に行われしました。逆瀬川は、水が逆流するのでその名称がついたのですが、武庫川の工事後、逆瀬川もしゅんせつがなされました。以前の逆瀬川の川幅はもっと広がったのですが、しゅんせつ土を川の両側に積み上げたため、現在の川幅になり、積み上げられた土地が住宅地となりました。逆瀬川荘園もその時に積み上げられた土地で、自然に松林となりました。

伊子志の水利組合は、大正 13 年に逆瀬川しゅんせつの補償金を資金として、逆瀬川に伏流水をつくり、地域に水を引く設備を整備しました。今でもそれは活用されており、逆瀬川駅付近とやや下流付近から水路に水が流れるようになっています。アピオもこの水を活用しています。

伏流水は、逆瀬川の表流水がなくなっても確保できるという、私たちが受け継いだすぐれた技術ですが、震災後一時的に流量が減り、近年は干天が続くと伏流水までもが干上がるようになってしまいました。

住宅地に点在している田圃では、暗きょ排水の技術も使われており、私たちの足元にはたくさんの伝承技術が息づいています。

水路では以前、たくさんの蜆やカブトエビ、魚があり、子ともが獲っては食卓にのぼるという生

活もありました。今でも蜆がいる箇所がありますが、人々の生活の中で意識されないものになりつつあります。

（水利組合 藤本氏へのヒアリングを元に作成）



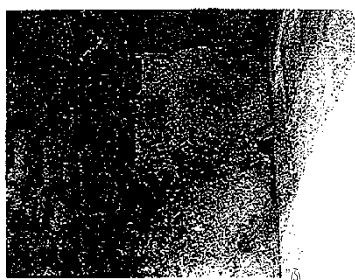
皿池周辺の松林に当時の面影が伺える。



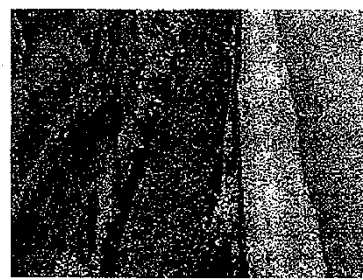
ここで各地区への水量調整をする。渇水期にこのような場所で水の奪い合いが起った場所。



逆瀬川右岸の側溝の途中から水が流れ出している。ここが逆瀬川の伏流水が地域の中に入ってくるポイント。



逆瀬川駅西側にも伏流水流入口がある。この水はアピアで使われている。



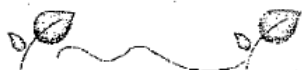
雨が降っていないなくても水が流れている水路は、農業用水路として活用されているもの。きれいな水。



大雨降水時、地域に流れ込む水の調整はここで行う。今は自動化され、便利になった。



小学校に通じる陸橋横の水路は、伏流水ではなく、逆瀬川から直接引いている。



## コミュニティ末広 まちづくりスローガン

コミュニティ末広は、良元村の時代から商店と役場が立地する賑やかなまちでした。ここにはいつも人が集い、さまざまな商品や文化がもたらされてきました。現在も、ここには生活の利便性を高める施設が身近に立地しています。その一方で、大通りを少し入ると迷路のような生活道路が人々の生活を支え、静かで落ち着いた住宅地が広がっています。

コンパクトで便利・住みやすい まち

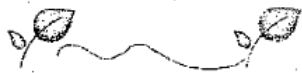
これが私たちのまち 末広です。

そしてもう一つのまちの魅力が、“みんなが仲良し” “このまちが好き”ということです。先祖代々この地で暮らしてきた人も、新たにこの地に住まいを求めてきた人も、仕事をしている人も、生活をしている人も、必ず誰かが誰かを知っていて、どこかでつながりをもっています。そして、まちを考え、まちに関わることで、生活を豊かにしようと考えている人がたくさんいます。

このような私たちのまちの特徴をふまえて、コミュニティ末広のまちづくりスローガンは、

**出会い・ふれあい・みんなで楽しくまちづくり**

とします。



## わがまち末広 まちづくり計画

### 1. 安心・安全な道づくり

#### 【いま】

##### ① 道 路（資料－1 参照）

- ・ 逆瀬川を起点とするバス路線となっている県道は、道幅が狭く、また歩道が整備されていない区間もあり、歩行者が歩きにくい。
- ・ 幹線道路との交差点には、信号機がない場所があり、通学路は迂回して設定されているが、大人にとっても危険な場所となっている。
- ・ 急勾配の上り坂で、高齢者が歩きにくい小学校への道がある。



末広小学校へ向かう急な坂道  
車椅子では上れない



車椅子や自転車も安全に渡られる  
横断歩道がほしい

##### ② 迷惑駐車・駐輪

- ・ 駐車車両によって見通しが悪くなっている道がある。
- ・ 駅前には通勤・通学の自転車が歩道に放置されている。
- ・ 定期的に迷惑駐輪・駐車をなくすキャンペーン、撤去作業などを地域でも行っているが、効果は薄い。

##### ③ 自転車・電動車いす利用者の交通安全

- ・ 狭い歩道で通り抜ける自転車とすれ違う時、身が縮む思いをする歩行者がいる。
- ・ 電動車いすは狭い道では自動車と抜きにくい。
- ・ 電動車いすには蛍光板がないため、夜間、自動車からの発見が遅れるので危ないことがある。



## 目標：歩行者にやさしい道づくり

歩行者にやさしい道は、車を運転する人にも安心して快適な道になるはず。今後とも歩行者の視点から、道づくりを提案・要望、改善に向けた実践に取り組みましょう。

ホップ (短期)		ステップ (中期)		ジャンプ (長期)
コミュ ニティ をあげ て	<b>横断歩道の設置要望：</b> 小学校にはコミュニティ施設があり、高齢者も通ってくる。中央公園も開園し、小さな子どもを連れた親も遊びに来る。歩道橋を利用しなくても県道を安全・快適に渡ることができるよう横断歩道の設置を継続して要望していこう。	コミュ ニティ をあげ て	<b>道路の安全点検実施：</b> “歩行者にやさしい道”という視点から、地域の道を点検し、地域でできる改善策を検討しよう。	人と車が共存できるように なって目標達成!!
		コミュ ニティ と市が 協力し て	<b>県道の歩道確保要望：</b> バス通りとなっている県道塩瀬門戸荘線を“歩行者にやさしい道”とするための工夫を引き続き要望し、実現しよう。	
コミュ ニティ と市が 協力し て	<b>通学路の交通安全施設整備：</b> 生活空間を分断する幹線道路は、自動車がスピードを出して通過している。押しボタン式信号機の設置や交差点の舗装を変えて自動車に注意を促すなど、新しい交通安全施設の整備の仕方を研究し、要望していこう。	ひとり ひとりが	<b>歩行者にやさしい運転キャンペーン：</b> 地域内の道は子どもや高齢者・障害者などが歩く道であることをアピールし、自動車運転者に歩行者にやさしい運転を実施してもらうことをPRしていこう。	
学校・ PTA・ コミュ ニティ が協力 して	<b>交通安全教室の開催：</b> 子ども達に自分達の身を守る手段としての交通安全教育を実施するとともに、大人も子ども達に手本を示す役割があることを認識して、ともに交通安全教室に参加していこう。	学校・ PTA・ コミュ ニティ が協力 して	<b>地域オリジナル免許の交付：</b> みんなが参加したくなるような教室となるよう、地域オリジナルの自転車運転技術やマナーなどの習得度を示す免許書などを警察とともに考案し、導入していこう。	

## 目標：お互いの気遣いで守る快適な歩行空間

歩きやすい道には、迷惑駐車や駐輪がありません。子ともも高齢者も障害者も、みんなが安心して歩くことができる道を、みんなで実現しましょう。

ホップ (短期)		ステップ (中期)		ジャンプ (長期)
学校・PTA・コミュニティが協力して	<b>自転車が通行できる歩道の確保：</b> 狭い歩道では、自転車も人にとって脅威となるので、警察と協力して、自転車が通行できる歩道を確保しよう。	コミュニティをあげて	<b>自転車が通行できる歩道の表示：</b> 自転車が通行できる歩道、できない歩道をきちんと表示をすることを要望しよう。	歩道や狭い道路空間に駐車車両や迷惑駐輪がなくなっ て目標達成!!
コミュニティをあげて	<b>自転車のマナー向上キャンペーンその1：</b> 自転車利用者に注意を呼びかけ、狭い歩道の安全性を高めよう。	コミュニティをあげて	<b>自転車のマナー向上キャンペーンその3：</b> 迷惑駐輪がなくなるまで、地域で暮らす子どもや高齢者、障害者の安全を守るための歩行空間づくりへの協力を呼びかけよう。	
	<b>自転車のマナー向上キャンペーンその2：</b> 誰もが「楽だから」「面倒だから」とついついマナーを違反をしてしまうことを自覚しつつ、地域で暮らす子どもや高齢者、障害者の安全を守るため、迷惑駐輪をする人に注意を呼びかけよう。			
	<b>電動車いすの安全確保：</b> 高齢者の足としての電動車いすの安全性を高めるため、利用者への安全教育や自動車への啓発を実施しよう。			
コミュニティをあげて	<b>違法駐車NOのまち運動展開：</b> 歩道を占拠している駐車車両を見つけたら、すぐに迷惑駐車ピラをつけて、「この地域ではみんなが見張っていますよ」というアピールをしていこう。	コミュニティをあげて	<b>迷惑駐車NOのまち運動の継続：</b> 歩道を占拠している駐車車両がなくなるまで、迷惑駐車ピラをつけて、「この地域ではみんなが見張っていますよ」というアピールをしていこう。	

## 2. 見守り・語らいのネットワークづくり

### 【いま】

#### ① 防 災

- ・ 避難所、防災・備蓄倉庫などの整備は進んできた。
- ・ 自治会を中心にして、地域の防災体制も整いつつある。
- ・ マンションが増えているが、管理人任せのところがある。
- ・ 防災訓練に参加する人が限定されている。
- ・ 防災グッズの使い方や避難経路の安全確認など、より具体的な防災対策はまだできていない。
- ・ 昼間、地域の中にいるのは、高齢者と子どもなどの災害弱者が中心となる。

#### ② 防 犯

- ・ 校区内でのちかん、ひったくり件数は減少してきているが、露出狂の出現や恐喝事件の発生などの情報が入っている。
- ・ 末広中央公園の開園に伴って、ますます外部からの人の出入りが増えている。
- ・ アピアでは防犯体制、施設の安全性を強化し、事件の未然防止を図っている。
- ・ アピアの店舗では、配達のために地域を巡回している車もある。
- ・ 防犯や子どもの見守りをしても、いざという時にどのように対処したらよいのか、わからない。

#### ③ 助け合いネットワークづくり

- ・ 高齢者のひとり暮らしが増えている。
- ・ 高齢者になると日常生活の簡単な作業でも手助けが必要となる。ちょっとした手助けがあると在宅での生活が楽になり、住み慣れた地域で暮らし続けることができる（例えば、ごみだしお手伝いなど）。
- ・ 緊急通報システムは隣近所の人 2～3 人に鍵を預けなければならず、近所づきあいの少ない人は利用しにくい。もっとさりげない見守りが必要とされている。

## 目標：日頃のつながりで、いざに備える

いつ、何時発生するかわからない災害に対して、日頃から、ひとりひとりが、隣近所が支え合って、さらに地域全体で備えることで、いざを乗り切りましょう。

ホップ (短期)		ステップ (中期)		ジャンプ (長期)
ひとり ひとりが	<b>あいさつ運動の展開：</b> 隣近所の人とは顔見知りになり「あいさつ」をしよう。	自治会、マンションなどでは	<b>避難支援行動計画づくり：</b> 隣近所の高齢者や障害者などで、避難の際に支援が必要な人を把握し、誰がどのように支援することができるかを、考えていこう。	ひとりひとりが防災に関する備えをし、助け合う体制づくりも整って、目標達成!!
	<b>わが家の防災計画づくり：</b> いざ、という時は昼間も起こるので、家族がそれぞれに違う場所にいることも想定して、集合場所や連絡の取り方を確認するなどわが家の防災計画をつくろう。			
自治会では	<b>防災に関する情報整理：</b> 自治会ごとに防災倉庫の場所や安全な避難経路などを確認して、防災マップをつくり、各家庭に配布しよう。	コミュニティをあげて	<b>防災訓練の参加の輪：</b> 子どもや若い世代も防災訓練に積極的に参加したくなるような、さまざまな技術を教えたり、免許を交付されるなど防災訓練のメニューを増やそう。	
警察や消防と協力して	<b>講習会の開催案内：</b> 救急救命などの専門的な訓練の実施状況を提供し、参加していきましょう。			

## 目標：ひとりひとりの見守りで支える安全なまち

まちの中にいる不審者の存在が浮き立つよう、日頃からみんながまちに目を向け、お互いに協力し合って犯罪を起こさせないまちにしましょう。

ホップ (短期)		ステップ (中期)		ジャンプ (長期)
コミ ユニ ティ をあ げて	<b>見守る意識づくり：</b> さまざまな世代との交流をもち、ひとりひとりが子どもやお互いを見守る意識を持とう。	警察等と協力して	<b>地域防犯情報の受発信ネットワーク：</b> 子どもの安全を守るさまざまなネットワーク間の連携を強化し、犯罪の発生・未遂事件に関する情報を速やかに流し、注意を促そう。地域の緊急情報の提供方法を見直し、みんなが即座に確認できる仕組みをつくろう。	みんながお互いに気をつけあうため、犯罪が起こしにくいまちになって目標達成!!
アピ アの 協力を えて	<b>広げよう防犯活動の輪：</b> 防犯活動は特定の人だけではできない。「アトム110番」だけでなく、店舗の配達車、犬の散歩をしている人などに呼びかけて防犯活動に参加してもらおう。			
自治 会では	<b>防犯の心構えPR作戦：</b> アピア各店舗が配布している広告に、防災マニュアルなど心構えなどを簡単に紹介し、みんなに啓発をしていこう。			
自治 会では	<b>防犯情報の回覧：</b> 地域で起こった（未遂）事件などの情報を的確に知らせるために、回覧板を活用することがあることをみんなに再確認しよう。	コミュニティをあげて	<b>防犯教室の開催：</b> みんなが思い立った時にいつでも学べるよう、定期的を開催していこう。	みんながお互いに気をつけあうため、犯罪が起こしにくいまちになって目標達成!!
自治 会、学 校、補 道委 員会、 警察が 連携し て	<b>防災教室の開催：</b> 事件に遭遇したり、子どもを助けるために、具体的にどのような対処をしたらよいのかをみんなで学ぶ機会を持とう。			
	<b>注意を促そう：</b> 子どもが危険な遊びをしていたら、「危ないよ」「気をつけて」と注意を促してあげよう。	コミュニティをあげて	<b>注意を促そう：</b> 子どもが恐喝らしき状況にあっているような場面で、複数の大人がいる場合には、一緒に「どうしたの？」と被害にあっている子どもに声をかけるようにしよう。	

## 目標：小さな目配せをしあい隊づくり

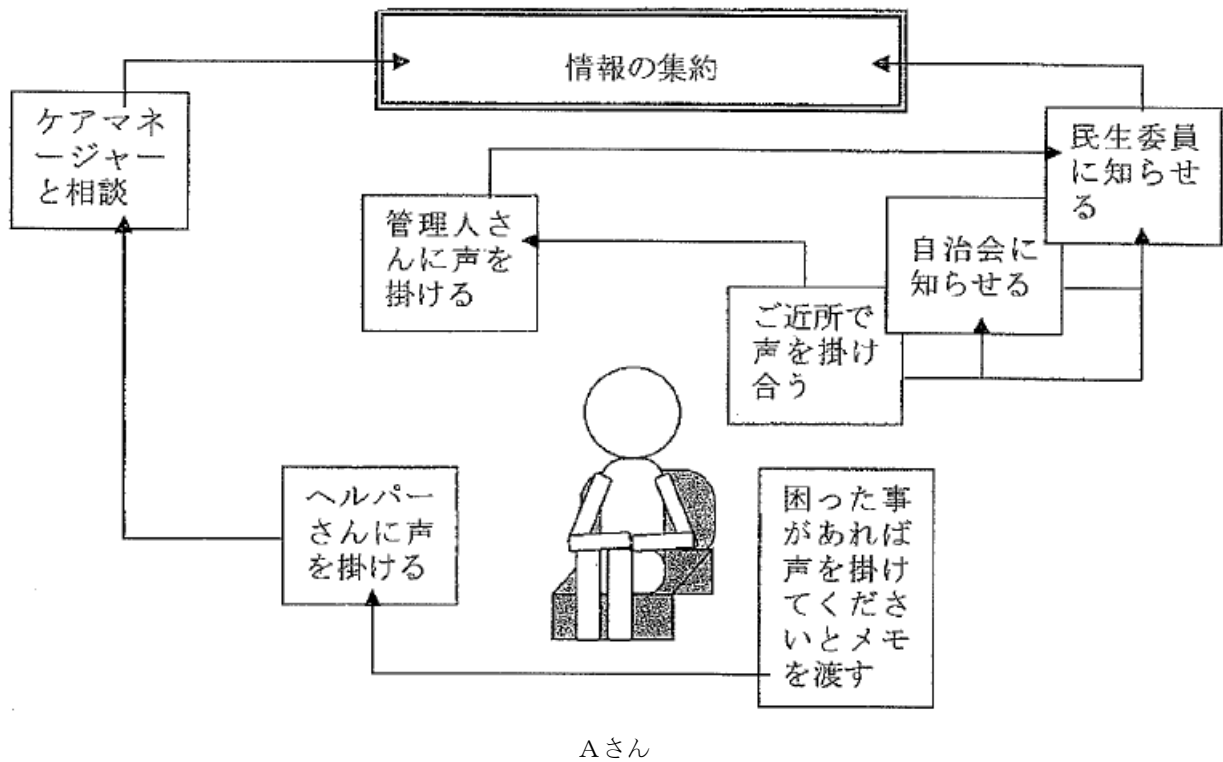
一人暮らしの高齢者、障害者や病気の人がいる家庭など地域にはいろいろな人が暮していることを認識し、みんなが日常的に少しだけ、お互いを気づかいあい、出来る手助けをし合う関係づくりをしましょう。

ホップ (短期)		ステップ (中期)		ジャンプ (長期)
コミュ ニティ をあげ て	<b>小さな目配せ運動：</b> 個人のプライバシーを尊重しながら、ご近所の異変を察知することは大変なことです。孤独死などを防止するため、ちょっとした目配せをお互いに上手にし合えるよう、コミュニティをあげての運動として行ってみましょう。	自治会 が中心 となっ て	<b>身近に気軽に集う場所づくり：</b> マンションの集会所などを活用して、身近に気軽に集えて、情報交換ができる場所をつくっていきましょう。	「ちょっと手伝って」「はい、いいですよ」とみんなが気軽に頼み・頼まれで きる関係づくりが できて目標達成!!
自治会 が中心 となっ て	<b>定期訪問：</b> 常々の活動の中で、高齢者・障害者などへの訪問や顔合わせを大切にしよう。敬老の日調査や自治会による高齢者訪問などで外に出ない高齢者にも声を掛けよう。			
コミュ ニティ と社協 が中心 となっ て	<b>地域支援体制づくりその1：</b> ご近所がグループになって気軽に見守りや手助けができる助け合いの仕組みを具体的に検討しよう。	コミュ ニティ をあげ て	<b>「ちょボラ」への参加キャンペーン：</b> ご近所にちょっとお願いしたい手助け内容を整理し、子ども達や若い世代の人にも参加・協力してもらえよう、呼びかけよう。	
社協と 専門家 が連携 して	<b>地域支援体制づくりその2：</b> 介護の専門家や民生委員、自治会長などの連携を強化し、困っている人と支援できそうな人をつなぐ体制をつくろう。			

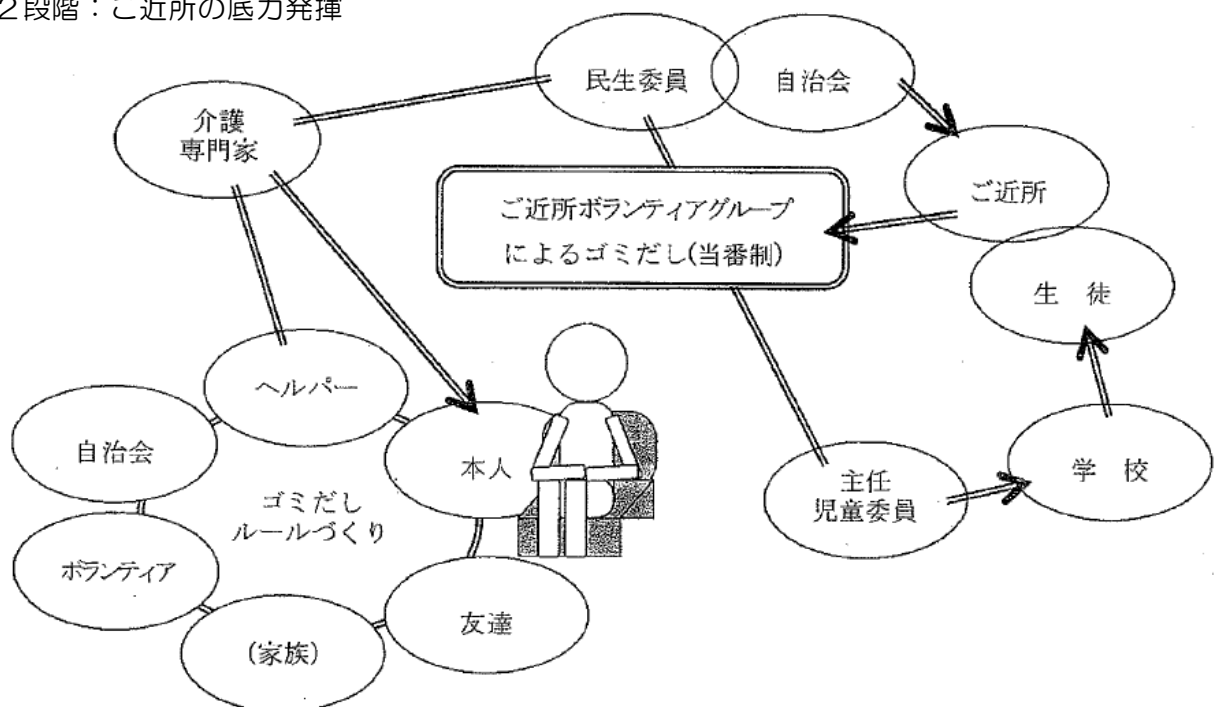
## こんな取り組みを実現させたい

ごみ出しに困っているAさんを支援する「ご近所の底力」づくり

第1段階：Aさんの存在に気づく



第2段階：ご近所の底力発揮



### 「最初の第１歩」時の問題

- 普段から近所づきあいがある人には直接声を掛けやすいが、あまりない人には掛けにくい。
- プライバシーの問題をどのように考えたらよいかわからないので、ついつい見ないふりをしてしまう。
- 民生委員が出入りすると、「一人暮らし」のラベルを貼っているようで「いやだ」という人もいる。
- 「ご近所の力を借りましょう」と介護のプロから本人にアドバイスをしてもらおうと、民生委員や自治会も対応しやすい。

### グループづくりの必要性

- 一人では対応しきれないけれど、数人でグループを組んで、ご近所であれば対応できる。
- 民生委員がご近所をネットワークしていくことは可能だ。
- 民生委員と自治会長を中心にして、2～3 人のグループをつくれば、週 2 回ぐらいのことなので対応できる。
- 通学途中のチョボラ（チョッとボランティア）として小・中学生又は高校生を募り、指導し、実施してもらう方法もある。

### ゴミだしルールの問題

- 玄関先にゴミを出しておいてもらえると、収集場までもっていくぐらいのことはできる。
- 通常でも分別がきちんとできていないケースがまだあるので、ゴミを出す場合には分別を徹底してもらう必要がある。
- 家の中に入ってゴミ出しをする場合には、分別をしておいてほしい。
- ゴミの出し方は、本人やヘルパーと民生委員あるいは自治会長がきちんと協議をする

**これらの検討をたたき台にして、  
より具体的に、誰かを助けてみる活動を実施して、  
問題点や取り組み方法をさらに考えていきましょう。**



### 3. 賑わい・交流のまちづくり

#### 【いま】

##### ① コミュニティ活動

- ・ 高齢者のためのいきいきサロンを月 1 回開催している。
- ・ 中央公民館では地域の活動も趣味の活動もいろいろ取り組まれている。中・高校生も集ってくる。
- ・ 転勤で宝塚に転入してくる子育て世代もいるが、友達をつくる機会が少ない、お母さんと子どもが自由に遊びながら交流が図られる場が少ない、などの課題があるため、17 年 4 月から子育てサロンの開催に新たにに取り組む。
- ・ 子どもの減少とともに子ども会も弱体化しており、運営上の工夫が必要となっている。
- ・ 末広小学校では、地域と連携したさまざまな交流活動や地域学習が実施されており、小学校・小学生は地域交流の核となっている。
- ・ 自治会・自治会単位でもカラオケ大会や作品展などを実施し、親睦を図っている。
- ・ いろいろな年代の人が集まり、自由に気軽に参加できる場が求められている。

#### <コミュニティ末広の活動>

ウォーキング（2 回/年）

アピア チャリティ ガレージセール

三世代交流（中央公民館にて 10or11 月）

クリスマス会（末広小学校にて 12 月）

コミュニティ末広 夏祭り

サロンつくし（高齢者）（1 回/月）

アピア夏祭り出店

末広ピア

伝承あそびの会（末広小学校 2 月 16 日）

おもちつき（6 年生を送る会）

#### <末広小学校と地域との連携活動>

コミュニティ末広 夏祭り

市民の集い（校区人権）

クラブボランティア

末広ピア（全学年）

伝承あそびの会（1・2 年生）

町探検（2・3 年生お店探検）

昔の生活・地域のお話し（4 年生）

三世代交流（6 年生）

おもちつき（6 年生）

クリスマス会（6 年生）

##### ② 逆瀬川振興協議会（アピア）との連携

- ・ アピアではベルマークや切手、カードの回収箱を設置し、ポイントの寄付を行っており、ベルマークについては、末広小学校に寄付している。
- ・ アピアの各店舗には地域の行事に広告費の名目で資金協力をもらっている。
- ・ 「コミュニティ末広 夏祭り」には、ブルドッグランドからも出店をしてもらっている。アピアが主催している「アピア夏まつり」は 3 小学校区との連携事業として実施されており、コミュニティ末広も参加している。

## 目標：地域で学ぼう　生き生きワクワク教育

地域のさまざまな資源を生かして、世代間の交流を進め、みんながそれぞれに学びあい、協力してよりよいものをつくることで、暮らしやすい・魅力いっぱいのまちづくりにつなげていきましょう。

ホップ (短期)		ステップ (中期)		ジャンプ (長期)
コミュ ニティ をあげ て	<b>お父さん活動調べ隊：</b> 普段あまり地域の活動に参加しないお父さんの知恵や力を子ども達への遊びの伝承やまちづくりに生かしてもらうため、他地域の取組みを研究してみよう。	コミュ ニティ をあげ て	<b>まちに学び隊：</b> 生涯学習グループや小・中学校などと連携しながら、まちを題材にしたさまざまな学習活動を展開してみましょう。	地域の中でいろいろな取り組みをしている人が輪になって楽しく学びながら、まちづくりが進められて目標達成!!
コミュ ニティ をあげ て	<b>人材発掘：</b> 地域の中にいるさまざまな特技や趣味をもっておられる人を把握しておき、イベントの際に協力をあおごう。	コミュ ニティ をあげ て	<b>グループ活動の活性化：</b> 趣味の会や生涯学習、ボランティアグループなどさまざまな活動をしている人とのネットワークも広げ、相互に交流を図りましょう。	
	<b>地域活動ヘルパー募集：</b> イベント・活動ごとにさまざまな仕事がありますが、少人数しかいなければ負担になることでも、たくさんの人が集まれば、手早く楽しみながらできるかもしれませぬ。上手に人に手伝ってもらおうイベント・活動づくりをしていきましょう。		<b>地域活動ヘルパー登録：</b> 役員は引き受けにくいけれど、コミュニティ恒例イベント・活動など単発の行事なら得意分野で参加しますよ、という人に登録をしてもらっておく仕組みづくりを検討しよう。	

## 目標：地域でスクラム 元気がでる賑わいづくり

いろいろな組織や団体・グループが参加して、みんなが元気になる取組みを展開し、賑わいのあるまちにしましょう。

ホップ (短期)		ステップ (中期)		ジャンプ (長期)
コミュニティとアピアが協力して	<b>夏祭りバージョンアップ作戦第1弾：</b> 「末広まつり」と「アピア夏まつり」の開催日程が近いため、担当者の負担が軽減するよう、情報交換を充実し、効率的な運営を実現しましょう。取り組み内容や役割分担、運営体制などを再確認しましょう。	コミュニティをあげて	<b>夏祭りバージョンアップ作戦第3弾：</b> 高校生や大学生などの若者が夏祭りに企画から参加するような取組みを考え、少しずつ実行していきましょう。	夏祭りにいろいろな世代の人が集まって賑やかに交流が図られるようになって目標達成!!
	<b>夏祭りバージョンアップ作戦第2弾：</b> 障害者団体や子ども会、生涯学習グループなどに「アピア夏まつり」への出店団体を呼びかけ、参加を募りましょう。 出店のためのノウハウが必要な団体には提供してあげる体制をつくりましょう			
コミュニティとアピアが協力して	<b>地域のお店“アピア”宣伝計画第1弾：</b> アピアで実施しているベルマーク回収運動を宣伝しよう。	コミュニティとアピアが協力して	<b>地域のお店“アピア”宣伝計画第3弾：</b> 空き店舗やホールの地域活用、各店舗とコミュニティイベントの連携（例えば、喫茶店での「ふれあいサロン」開催）などについて検討し、実験的にできることをやってみよう。 アピアでの買物ポイントを地域で貯めて、地域イベントに資金還元してもらう仕組みについて検討しよう。	地域のお店のさまざまなお店をみんなですぐに活用し、お店が存続し、楽しい時間をみんながもてて目標達成!!
	<b>地域のお店“アピア”宣伝計画第2弾：</b> お店の宣伝物に防犯啓発コラムを乗せたり、コミュニティ広報誌などにお店の広告を載せたり、地域が求めるお店アンケートを実施したりするなど、地域をあげてアピアと協力しあう関係をつくってみよう。		<b>駅前バージョンアップ：</b> 駅前のデッキの拡大による交流広場の確保など、駅前開発を検討しよう。	

## 4. 快適な環境づくり

### 【いま】

#### ① 公園

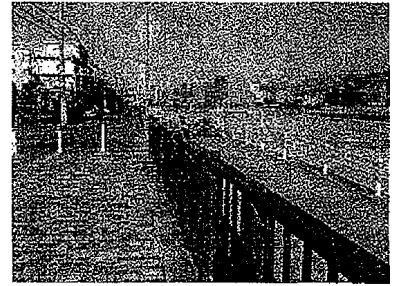
- ・ 武庫川河川敷では「武庫川をきれいにする会」（河川敷を活用している各種団体とシルバー人材センター、地域）が清掃をしている。コスモス畑づくりも市がイニシアチブをとって実施していた（去年は実施していない）。
- ・ 各公園については、自治会が中心となって年2回一斉清掃を実施している。
- ・ 末広中央公園に犬のフンが落ちており、芝生や水遊びをしている子ども達の衛生に不安がある。
- ・ 末広中央公園は、ドッグランやボール遊びなどさまざまな使われ方がなされている。
- ・ 末広中央公園と小学校の間の通路は、休日になると違法駐車で溢れかえる。
- ・ せせらぎ公園は、自治会で定期的に清掃がなされているが、地域外の利用者も多く、利用している人にも清掃活動に参加してもらおうべきではないか、という議論もある。



広々とした末広中央公園



見晴らしもよく、さまざまに活用されている武庫川河川敷公園

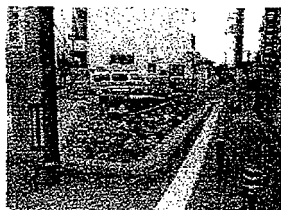


#### ② まちの美化・景観

- ・ 駅前での美化啓発キャンペーン（花の種の配布）を実施している。
- ・ ごみが有料化されると人目のつきにくい場所に不法投棄が増えるのではないかと、という心配がある。
- ・ 駅前のアピア付近のけやき通りはムクドリの声・フン・羽毛などによる住民への被害が拡大しており、緊急に効果的な対策の実施が求められている。
- ・ 白砂青松といわれた風景は開発とともになくなり、今はわすかに残された松があるのみとなっている。
- ・ コミュニティで花壇の世話をし、四季おりおりの花を植えている。



コミュニティの花壇



ムクドリが襲来するけやき



昔がしのばれる松

## 目標：思いやりの心でつくる快適な公園 ～マナー向上宣言～

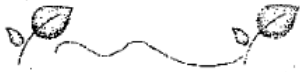
みんなの財産である公園の利用マナーを向上し、みんなが楽しめる空間づくりにひとりひとりが協力し合うまちにしよう。

ホップ (短期)		ステップ (中期)		ジャンプ (長期)
コミュ ニティ をあげ て	<b>マナー向上キャンペーン その1:</b> 獣医さんなどと協力し て、犬を放したまま散歩 させたり、フンを放置し たりすることはマナー 違反であることを自覚 してもらうキャンペー ンを行おう。	コ ミ ュ ニ ティ を あ げて	<b>マナー向上宣言のアピ ール:</b> 末広中央公園の利用者 (他地域から来る人)に 対して、末広のまちづく りでめざしている“マナ ー向上宣言”を理解して もらい、公園利用のマナ ーを守ってもらおう。	公園利用者のマナーが 守られ、ごみや犬のフ ンがなく、みんなが安 心して楽しめる公園 となって目標達成!!
コミュ ニティ と行政 が協力 して	<b>マナー向上キャンペーン その2:</b> 子どもが安全に安心し て遊ぶことができるよ う、公園利用のマナー、 ルールを啓発しよう。 市役所駐車場が利用可 能なことをもっとPR しよう。			
コミュ ニティ をあげ て	<b>マナー優秀者表彰の実 施:</b> 散歩をしながらごみ拾い をしている人もいるの で、コミュニティとして このような人に感謝の気 持ちは表していこう。	コ ミ ュ ニ ティ を あ げて	<b>マナー優秀者表彰の実 施:</b> 引き続き実施	みんながマナー優秀者 になって目標達成!!

## 目標：ごみのないまち・美しいまちづくり

ごみをなくし、季節が感じられる花や緑が飾られ、みんなが自分の部屋のようにまちを快適な場所にする時間を少しずつ持ちよるまちにしよう。

ホップ (短期)		ステップ (中期)		ジャンプ (長期)
自治会 ごとに	<b>ごみチェック：</b> ごみの不法投棄がなされていないかのチェックを強化しよう。	自治会 ごとに	<b>ごみ“NO”活動の実施：</b> ごみがよく捨てられる場所があれば、ご近所と協議して、頻繁に見張りを行うとともに、花壇などごみが捨てにくい場所に変える工夫をしよう。	ごみのポイ捨てもなく、一人一人がまちを美しくすることに少しずつ取り組み、まち全体の景観がよくなって目標達成!!
コミュ ニティ をあげ て	<b>みんなで知ろう わが まちのきれいな庭・通り：</b> 素敵なお庭・通りづくりを取り組んでいる人・地域を紹介してもらい、その工夫を知ろう。	コミュ ニティ をあげ て	<b>みんなで学ぼう きれ いな庭・通りのコツ：</b> 地域の人が講師になる庭づくりのコツ講習会を実施しよう。	
			<b>みんなでやってみよう 地域の花壇づくり：</b> 花の講習会に参加してくれた人など花壇づくりをお世話してくれる人を公募して、地域の花壇づくりを楽しむ組織づくりを行おう。	
コミュ ニティ と行政 が協力 して	<b>ケヤキ通りに知恵を集 結：</b> ムクドリ被害に泣くケヤキ通りの存続について、事例を調査し、解決に向けた新たなる対応策の検討・実施を進めよう。	コミュ ニティ をあげ て	<b>まちの緑を調べ隊：</b> 地域の開発によって松並木が姿を消しましたが、公園整備などで新たに木が植えられています。まちの中にある木を調べ、まちの自然について考えてみましょう。	



## こうやって計画を進めよう

約2年にわたって、勉強会や意見交換会を重ねながら、「コミュニティ末広まちづくり計画 ～出会い・ふれあい・みんなで楽しくまちづくり～」を作成しました。今後は、この計画を実現していくため、自治会や各団体、コミュニティが連携し、協議を行う「まちづくり計画実行委員会」をつくり次のステップに踏み出します。

「まちづくり計画実行委員会」では、年に1～2回定例会を開いて、各活動の取り組み状況を発表しあいます。また、計画の内容をより具体的に検討し、実現のためのアイデア出しや、実施のための体制づくりなどを行います。

また、このまちづくり計画がどのように進んでいるのかについて、コミュニティ広報誌を通じてコミュニティのみなさんに情報を提供します。市のホームページなどにも掲載してもらえよう、協議を進めます。

「出会い・ふれあい」を大切にし、「みんなで楽しくまちづくり」をしているコミュニティ、暮らしやすい、活気あふれる末広にしていきたいと思います。

### 計画案策定までの取り組み

1. わいわい・がやがやトーク
2. まち歩き
3. まちづくりのテーマだしワークショップ
4. 水路調査
5. 防犯、安全・安心に関する意見交換
6. 福祉に関する勉強会、意見交換
7. 駅前まちづくりと商業に関する意見交換
8. まちづくり計画策定委員会

## この計画づくりに参加した人

自治会	・逆瀬川自治会
	・伊子志自治会
	・シティライフ逆瀬川
	・スカイハイツ
	・サンハイツ
	・伊子志東自治会

学校関係	・末広小学校
	・逆瀬川幼稚園
	・逆瀬川保育所
	・伊子志保育園
	・PTA

	・子ども会
--	-------

	・逆瀬川振興協議会
	・企業、商店

	・個人
--	-----

老人会	・逆瀬クラブ
	・平成福寿会

行政関係	・民生児童委員
	・補導委員
	・人権啓発活動推進委員
	・保護司
	・更生保護女性会

このまちづくり計画は、地域内の多くの人のご協力により作成されました。



## コミュニティ末広 コミュニティ・カルテ

場 所	困ったな	こうしたい
-----	------	-------

### ① 道路

①—1	袋小路の表示がない	
①—2	バス路線なのに道幅が狭い	歩道の確保、バス路線の変更？
①—3	信号がないので、渋滞が発生する	
①—4	幅員が狭く入組んでいるので危険	
①—5	幅員が狭いので危険	

### ② 歩道

②—1	歩道の幅員が狭く車椅子では通り難い	
②—2	歩道の段差・傾斜があり車椅子では通り難い	
②—3	歩道がない	県道への歩道設置
②—4	シルバーゾーンの整備と啓発	
②—5	樹木の根が盛り上がり歩きにくい	
②—6	坂がきついので車椅子が通りにくい	水路上を活用してゆるやかなスロープの整備

### ③ 交通

③—1	見とおしが悪く横断危険	横断歩道、信号の設置
③—2	信号機がないので横断危険	
③—3	横断歩道はあるが横断危険	押しボタン式信号の設置
③—4	信号無視が多いので横断注意	信号機が連続しているのでスムーズな交通処理を要望
③—5	飛び出しがあるので危険	
③—6	右折左折が多いので危険	
③—7	交通問題全般	広報板の設置 電柱表示等近隣への啓発

### ④ 駐車車両

④—1	駐車車両が多い	民家側の歩道の整備
④—2	見通しが悪いのに駐車車両が多い	

### ⑤ 防犯

⑤—1	街灯がほしい	
⑤—2	人通りが少なく、暗くなると危険	
全体	交番がない	駅近辺に交番の設置

⑥ 水路

⑥—1	6-1. 大雨の時は増水してあふれてくるので注意	溝清掃が必要
⑥—2	6-2. 水路のフタの目が粗く車椅子などがひっかかる	
全体	6-3. 共生のためフタや安全策が必要	フタの取替、通学路でのフタや安全柵の設置

⑦ 衛生

⑦—1	7-1. ゴミステーションの整備
-----	------------------

